

一・二級小型船舶操縦士学科試験

一般科目 (問1～問50)

問題

受験番号

【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。
3. 以下のものを使用しないこと。

携帯電話、計算機、方位・潮汐機能を有する時計及びこれらに類するもの。

【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目 (問1～問50)	1時間10分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航 (問13～問50)	55分

海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

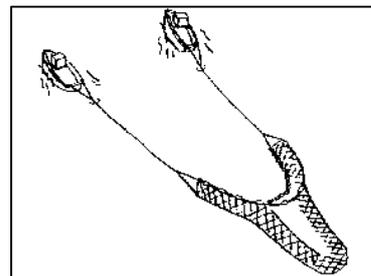
- (1) 海上での信号や標識は、小型船舶の航行には関係がない。
- (2) 自分さえ安全ならば、速力を上げて航行してもよい。
- (3) 沿岸付近を航行するときには、陸上との連絡手段を持つ必要はない。
- (4) 太陽光の水面反射によって、水面の状況が分かりにくいことがある。

問2 水上オートバイの特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船底に舵やプロペラが付いていないので、比較的浅い場所でも走行できる。
- (2) 小さくて軽い艇体に高出力のエンジンを積んでいるので、高速で走行できる。
- (3) 船尾から噴射する水流の向きを変えることで進行方向を変えている。
- (4) 速力を落としたり停船したりする場合には、おもに艇体が受ける風の抵抗を利用する。

問3 下図に示す「^{そこ}底引き網漁業^{あみ}」について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 右図のように2隻が1組になって操業している場合は、2隻の間に入らないように注意する。
- (2) 網は海底に広げられているので、漁船の後方であればすぐ近くを航行することができる。
- (3) 操業中に進路を急に变える場合があるので、近くを航行する場合は特に注意する。
- (4) 操業中であることを示す象徴物をマストなどに掲げている場合がある。



問4 プレジャーボートの海難事故の発生傾向について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 海難事故の多くが、港内を含む海岸から3海里以内の水域で発生している。
- (2) 事故原因の多くが、見張り不十分や機関取扱不良などの人為的ミスである。
- (3) 初心者の船長が起こす事故が大半を占めており、熟練者が起こす事故は少ない。
- (4) 海難にともなう転落事故では、ライフジャケットを着用していない者の死亡率が高い。

問5 小型船舶の船長の役割や責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 小型船舶の船長には、大型船の船長と同じように社会的な責任と義務がある。
- (2) 船の最高責任者なので、リーダーシップを発揮して何ごとにも的確な判断をする。
- (3) 水域ごとのルールや遵守事項を守り、他の利用者^{ゆず}と譲り合って水域を利用する。
- (4) 同乗者が操縦中に起こした事故については、どんな場合でも船長に法的責任はない。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 見せびらかし走行は、他人に迷惑をかけることがないので行ってもよい。
- (2) 操船に自信があれば、海水浴場に近づいて航行しても危険はない。
- (3) 手こぎボートは引き波に強いので、すぐ近くを高速で航行してもよい。
- (4) 操業中の漁船からはできるだけ離れ、引き波を立てないように航行する。

問7 航海計画を立てるときの注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料の消費量はいつも一定ではなく、海域の状況によって変わること。
- (2) 荒天となった場合に避難できる港をあらかじめ調べておく必要があること。
- (3) 複数の船で航海する場合、速力や航続距離などの性能は船によって異なること。
- (4) 慣れ親しんでいる水域であれば、海図などによる事前の調査は必要ないこと。

問8 電話番号「118番」により海上保安庁へ通報する場合として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 海岸や海上で不審な船舶や人物を発見したとき。
- (2) 海上で海難事故を起こしたとき、または事故を目撃したとき。
- (3) 海上で船舶の航行に支障があるような漂流物を発見したとき。
- (4) 初めて航行する水域の気象情報について問い合わせるとき。

問9 小型船舶の船長の遵守事項として誤っているものは、次のうちどれか。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 酒に酔って正常な操縦ができないおそれのある者に、操縦させてはならない。
- (2) 水上オートバイに乗船して航行する場合は、ライフジャケットを着用しなければならない。
- (3) 港則法に基づく港の区域を航行するときは、有資格者が操縦しなければならない。
- (4) 自分が安全だと判断すれば、遊泳者のすぐそばで急回転してもかまわない。

問10 操縦免許証の有効期間を更新するための要件として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 所定の身体適性基準を満たしていること。 (小型船舶操縦者法)
- (2) 講習により更新する場合は、更新講習を修了していること。
- (3) 有効期間満了後3か月以内に、更新手続きが完了していること。
- (4) 乗船履歴により更新する場合は、所定の乗船履歴があること。

問11 船舶検査を受ける必要のない船舶は、次のうちどれか。 (船舶安全法)

- (1) 旅客定員7人以上のろかい客船
- (2) 長さ3メートル未満でエンジンの出力が1.5キロワット未満の船舶
- (3) 他の船舶に引かれるエンジン付きの客船
- (4) 沿海区域を超えて航行するヨット

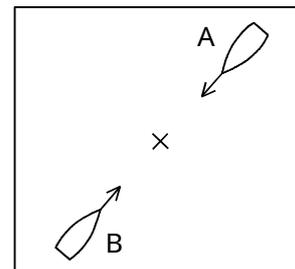
問12 不法係留や放置船による影響について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船舶所有者と付近の住民との間にトラブルが生じることがある。
- (2) 船体の破損や沈没により、水域の景観や水質を汚すことがある。
- (3) 船舶交通がなめらかになり、工事作業がはかどることがある。
- (4) 高潮や洪水のときに船舶が流されて、被害が大きくなる可能性がある。

【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) A、Bともに、針路を左に転じる。
- (2) A、Bともに、針路を右に転じる。
- (3) AはBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (4) BはAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。



問14 広い水域において、他の船舶に追い越される船舶がとらなければならない動作は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) そのときの針路と速力を保って航行する。
- (2) 追い越される舷の反対側に舵を取る。
- (3) はっきり、早めに、大幅に速力を落とす。
- (4) 追い越される舷を指定する汽笛信号を行う。

問15 夜間航行中の動力船が、その右舷前方に他の動力船のmast灯と左舷灯を認め、衝突するおそれがあると判断したときにとらなければならない航法として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。(海上衝突予防法)
- (2) できる限り早めに、はっきりと分かる動作をとって、他の動力船の進路を避ける。
- (3) 直ちに急速に短音5回以上の汽笛信号を行う。
- (4) 他の動力船の操船信号を確認するまで、長音1回の汽笛信号を行う。

問16 避航船が適切な動作をとっていないことが明らかとなったため、保持船が避航船との衝突を避けるためにとった次の動作のうち、適切でないものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 左舷から近づいてくる動力船が全く避航動作をとらず、動力船である自船と著しく近づくおそれがあったため、これを避けようと左転した。
- (2) 自船を追い越そうとする動力船が針路をほとんど変更せず、自船と著しく近づくおそれがあったため、警告信号を発した。
- (3) 自船が漁ろうに従事している最中、右舷前方から動力船が急に近づいてきて危険な状態となるおそれがあったため、これを避けようと機関を後進にかけた。
- (4) 自船が帆のみを用いて航行中、正面から動力船が近づいてきて危険な状態となるおそれがあったため、これを避けようと右転し停船した。

問17 各種船舶間の航法における、避航船と保持船の関係を示した下表のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

	避航船	保持船
(1)	帆 船	操縦性能制限船
(2)	帆 船	運転不自由船
(3)	動力船	漁ろうに従事している船舶
(4)	漁ろうに従事している船舶	帆 船

問18 安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

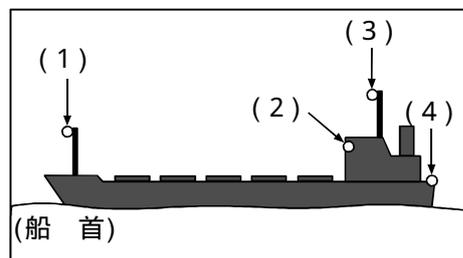
- (1) 帰港予定時刻
- (2) 燃料の残量
- (3) 船舶交通の混み具合
- (4) 船の定員

問19 船舶は、狭い水道では、やむを得ない場合を除き、どのようなことをしてはならないと定められているか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 錨 泊
- (2) 漁ろう
- (3) 他船の追越し
- (4) 水道の横断

問20 右図は、夜間航行中の長さ50メートル以上の動力船が表示している灯火を示したものである(正横方向から見えない灯火も図示してある)。長さ50メートル未満の航行中の動力船が表示しなくてもよい法定灯火は、図中(1)~(4)のうちどれか。

(海上衝突予防法)



問21 昼間、船舶が表示しなければならない形象物とそれを表示している船舶との組合せとして正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1)  ... ^{びょうはく} 錨泊中の船舶
- (2)  ... 漁ろうに従事している船舶
- (3)  ... ^{えいこう} 曳航作業中の船舶
- (4)  ... 操縦性能制限船

問22 船舶が遭難して救助を求める場合の信号として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 無線電話による「メーデー」という語の信号 (海上衝突予防法)
- (2) 縦に上から国際信号書に定めるM旗及びD旗を表示することによる信号
- (3) 左右に伸ばした腕を繰り返しゆっくり上下させることによる信号
- (4) オレンジ色の煙を発することによる信号

問23 港内における航法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (港則法)

- (1) 航路を航行する船舶は、航路外から航路に入ろうとする船舶の進路を避けなければならない。
- (2) 航路内で他の船舶と行き会うときは、右側を航行しなければならない。
- (3) 汽船が防波堤の入口付近で他の汽船と出会うおそれのあるときは、出航する汽船は入航する汽船の進路を避けなければならない。
- (4) 防波堤の突端を左舷に見て航行するときは、できるだけこれに近寄って航行しなければならない。

問24 港内における雑種船に関する規定について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

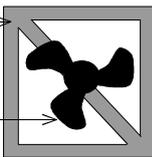
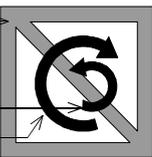
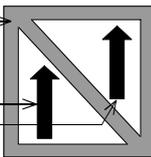
- (1) みだりに船舶交通の妨げとなるような場所に停泊してはならない。 (港則法)
- (2) みだりに船舶交通の妨げとなるような場所に停留してはならない。
- (3) みだりに係船浮標に係留してはならない。
- (4) みだりに雑種船以外の船舶を避航してはならない。

問25 航路における一般的な航法として誤っているものは、次のうちどれか。 (海上交通安全法)

- (1) 航路をこれに沿って航行している巨大船は、航路に入ろうとする漁ろう船等の進路を避けなければならない。
- (2) 長さ50メートル以上の船舶は、定められた地点間を航行するときは、航路を航行しなければならない。
- (3) 航路によっては、12ノットを超える速力で航行してはならない区間が定められている。
- (4) 航路を横断する場合は、できる限り直角に近い角度で、すみやかに横断しなければならない。

問26 次の河川通航標識のうち「回転禁止」を表すものはどれか。

(河川法)

- (1)  紅色
黒色
- (2)  紅色
黒色
- (3)  紅色
黒色
- (4)  紅色
黒色

【運 航】

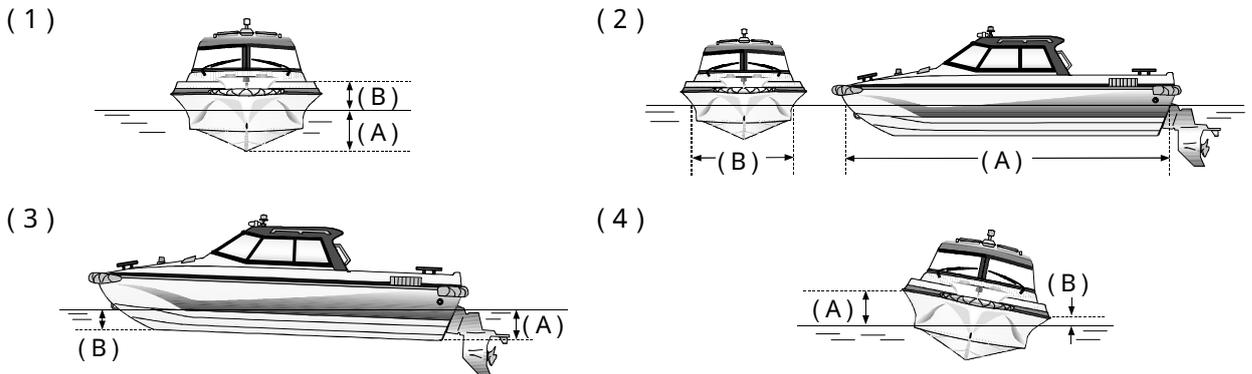
問27 航行中、右舷船首すぐそばに発見した浮遊物を、キックの作用を利用してとっさに避けるためには、直ちに舵とエンジンをどのように操作したらよいか。最も適切な組合せを次のうちから選べ。

(1) 左転舵いっぱい 中立 (2) 左転舵いっぱい 後進
 (3) 右転舵いっぱい 後進 (4) 右転舵いっぱい 中立

問28 錨泊中に走錨していると判断できる状態は、次のうちどれか。

- (1) アンカーロープが張ったりゆるんだりする。
 (2) 風を常に片舷方向から受けている。
 (3) 船体が、ほぼ規則的に振れ回っている。
 (4) アンカーロープに触っても、振動が感じられない。

問29 下図(1)~(4)は、船体を水面に浮かべた状態を示した略図である。図中の(A)と(B)との差がトリムを表しているものはどれか。



問30 沿岸航行中、濃霧となった場合の対処として適切でないものは、次のうちどれか。

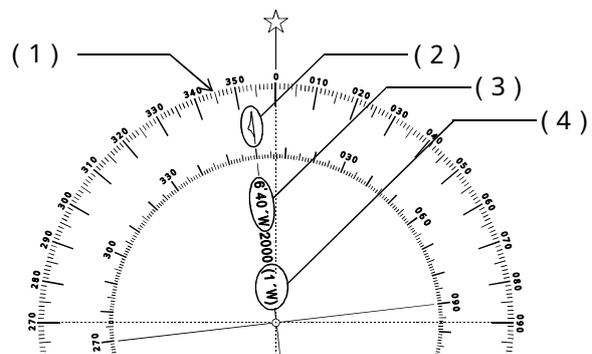
- (1) いつでもエンジンを操作できるようにしておく。
 (2) 陸岸の近くであれば、停船して水深を測る。
 (3) 船位が不明になったら、投錨して視界の回復を待つ。
 (4) 風が吹き始めたら、風下の方へ向かって航行する。

問31 小型船舶で水上スキーやウェイクボードを引く場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) プレーヤー(引かれる者)を船内に収容するときは、エンジンをかけたままにしておく。
 (2) トーイング中の周囲の見張りは同乗者が行い、操縦者は操船に集中する。
 (3) 高速より低速の旋回のときのほうが、プレーヤーが外側に振られやすい。
 (4) トーイングロープを回収するときは、プロペラに巻き込まないように注意する。

問32 右図に示すコンパス図の説明として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 真方位を表す。
 (2) 磁北を表す。
 (3) 自差を表す。
 (4) 年差を表す。



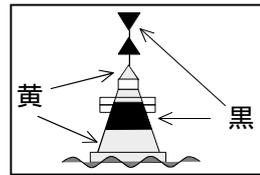
問33 12ノットとは、1時間に何キロメートル(km)航走する速力をいうか。次のうちから選べ。

- (1) 約9km (2) 約11km (3) 約19km (4) 約22km

問34 右図に示す標識は、次のうちどれか。ただし、

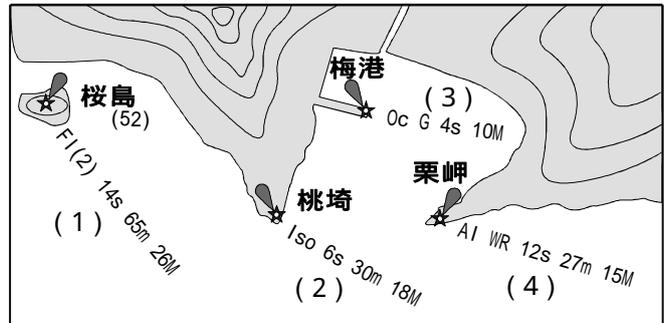
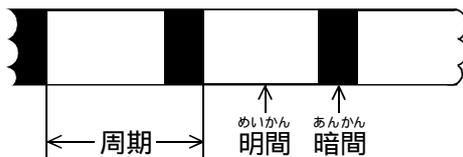
黄、黒は標体の塗色を表す。

- (1) 北方位標識 (2) 東方位標識
(3) 南方位標識 (4) 西方位標識



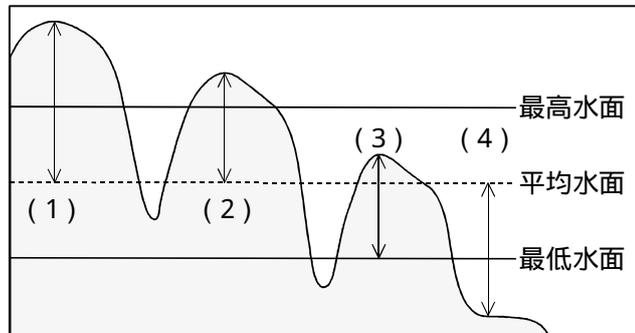
問35 下図に示す灯質の灯台は、右図の

(1)~(4)のうち、どの灯台を表しているか。



問36 海図に記された高さや水深の基準面を示した右図のうち、誤っているものはどれか。

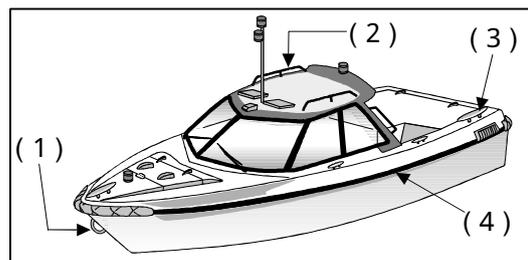
- (1) 山の高さ
(2) 島の高さ
(3) 干出の高さ
(4) 水深



問37 海図図式「」の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 干出岩 (2) 暗岩 (3) 洗岩 (4) 水上岩

問38 右図は、小型船舶を斜め前方から見た略図である。「ガンネル」は、図中(1)~(4)のうちどれか。



問39 小型船舶の上架手入れの方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ハッチを開けて通風換気を行い、内部を乾燥させる。
(2) 燃料タンクは上架のたびに内部を塗装する。
(3) 防食亜鉛を点検し、必要に応じて交換する。
(4) ボトムプラグを抜き、ビルジを排出する。

問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) デッキ上が整理されている。 (2) 重い荷物が低い位置に積んである。
(3) ハッチが閉じてある。 (4) スカッパーが閉じてある。

問41 発航前の燃料系統の点検について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 燃料タンクに必要最低限の燃料があることを確認する。
(B) 燃料フィルターにゴミや水分が入り込んでいないことを確認する。
(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問42 キャブレターの役割について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。

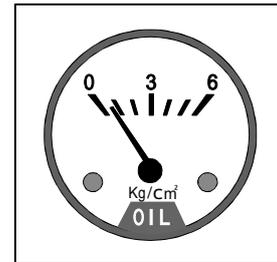
- (1) 霧状にした燃料油と空気の混合気を作る。
(2) 燃料油に入り込んだ不純物を取り除く。
(3) エンジンにより動かされ、一定の圧力で燃料油を送る。
(4) エンジンに供給する燃料油をたくわえておく。

問43 次のエンジン形式(A)~(C)において、プロペラ部分をチルトアップできるものは、下のうちどれか。ただし、一部の競技艇や漁船など、特殊な用途のものを除く。

- (A) 船外機(アウトボードエンジン)
(B) 船内外機(インボードエンジン/アウトドライブ)
(C) 船内機(インボードエンジン)
(1) すべてが可能 (2) (A)(B)は可能 (3) (B)(C)は可能 (4) (C)だけ可能

問44 ガソリンエンジンを運転中、油圧計が右図のような値^{あたり}を示した。冷機後、エンジンを停止してからまず初めにとらなければならない処置として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 油圧計を取り替える。
(2) オイルフィルターを交換する。
(3) エンジンオイルの量を測る。
(4) エンジンオイルを補給する。



問45 4ストロークガソリンエンジンにおいて、エンジンオイルを交換するときの目安として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 油圧計が通常より高い示度を指すようになった場合
(2) エンジン始動時の振動が通常より大きくなってきた場合
(3) エンジン始動時の排気色が通常より濃くなってきた場合
(4) エンジンオイルの色が通常より白濁してきた場合

問46 天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

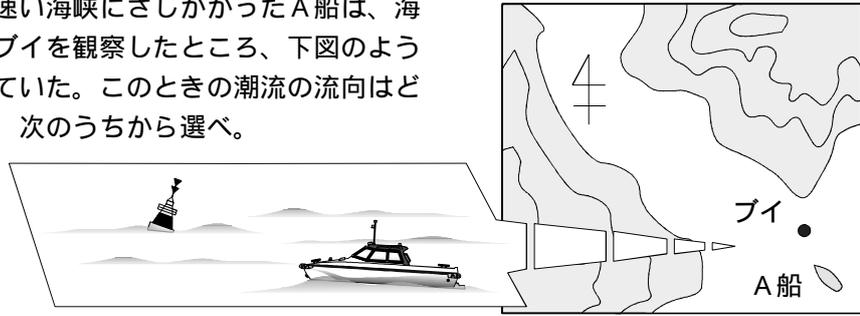
- (1) ☉ 雨 (2) ● くもり
(3) ⊗ 雪 (4) ⊕ 快晴

問47 突風が吹く前兆とされているものは、次のうちどれか。

- (1) 空一面にうろこ雲が現れた場合 (2) 西の空に日がさ、月がさが見えた場合
(3) 西の空に積乱雲が現れた場合 (4) 急に気温が上昇した場合

問48 右図のような潮流の速い海峡にさしかかったA船は、海峡の入口に設置されたブイを観察したところ、下図のようにブイが自船側に傾いていた。このときの潮流の流向はどちらだと判断できるか。次のうちから選べ。

- (1) 北東流
- (2) 南東流
- (3) 北西流
- (4) 南西流



問49 荒天航行中における操縦上の注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 向かい波のときは、船体が受ける衝撃を小さくするため、^{かじ}舵が効く程度まで速力を落とす。
 - (B) 追い波を受けて航行するときは、波の下り斜面で船体が波に対して横向きとなり転覆するのを避けるため、波の上り斜面に位置を保つように速力を調整する。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問50 昼間、小型のモーターボートで航行中に落水者を発見した場合の救助方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 見失わないように、落水者の近くに信号紅炎を投げる。
- (2) 風や波の方向を考慮しながら、注意深く接近する。
- (3) 救助時に行きあしがなくなるように速力を調整する。
- (4) エンジンを止め、落水者を船尾側から収容する。